

# 沿岸定線観測速報 ちば (2021年9月)

千葉丸：9月10～12日

千葉県水産総合研究センター  
千葉県農林水産技術会議  
令和3年9月17日

黒潮は、緩やかに蛇行して房総沖を北東に流れていました(図2)。  
水温は、銚子・九十九里海域は平年並～やや高め、外房海域は平年並でした(表1)。

(詳細)

水深10mの水温は23～29℃で、距岸15～30マイルの海域に水温が急変する潮目が形成されていました(図3)。水深10mでは塩分34.2PSU以下の水塊が広がり(図4)、鉛直方向の厚さは、ごく沿岸では水深50m付近にまで及びました(図6)。その下層(水深50～200m付近)では、黒潮系の高塩分水が沖側から大陸棚付近にまで波及していました。また、犬吠埼沖の大陸斜面付近には、黒潮系水の下層(水深300～500m)に親潮由来の低温低塩分水(7℃以下、34.2PSU以下)が見られました(図5,6)。

海面の流れは、潮目から黒潮北縁にかけての海域では北東へ向かう流れで、最大で4～5ノットに達しました。また、外房のごく沿岸には、南～南西へ向かう1ノット前後の流れが見られました(図2)。

クロロフィル濃度は、最大でも1μg/L程度で、全体的に低めでした(図7)。

キンメダイ漁場の水温は、勝浦沖は前年より低め、銚子沖も100m以深で前年より低めでした(図8)。海面の流れは、勝浦沖は1.4ノット、銚子沖は1.7ノットで、いずれも北東へ向かう流れでした。

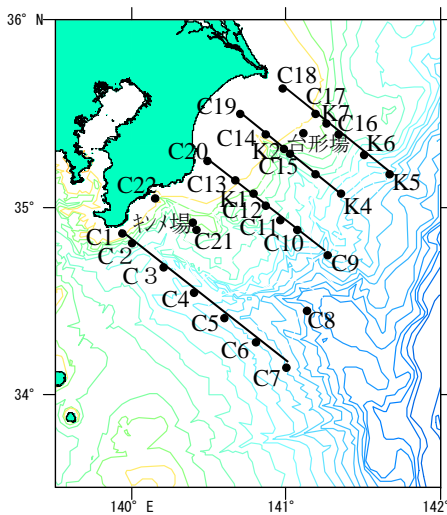


図1 調査点

線は北から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線

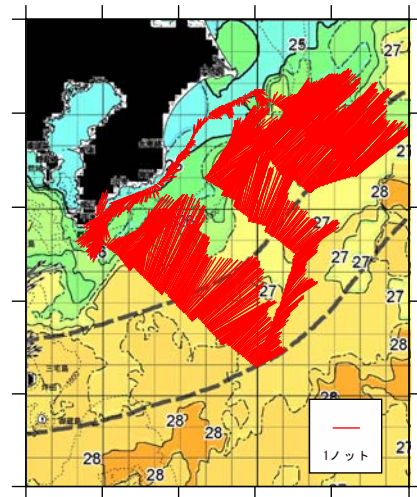


図2 観測時の海況  
(破線は黒潮流路)

表1 海域別平均水温(℃)と評価

| 海域      | 0m       | 50m       | 100m     | 200m      |
|---------|----------|-----------|----------|-----------|
| 銚子・九十九里 | 26.0 平年並 | 23.2 やや高め | 17.5 平年並 | 15.0 やや高め |
| 外房      | 26.2 平年並 | 20.0 平年並  | 17.0 平年並 | 14.2 平年並  |

\*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14～20 計7点，外房海域：C1,C3,C11,C13,C21,C22 計6点

\*沿岸水温評価の目安(σ：標準偏差)

|        |               |
|--------|---------------|
| きわめて高め | 2.0 σ～        |
| 高め     | 1.3 σ～2.0 σ   |
| やや高め   | 0.6 σ～1.3 σ   |
| 平年並み   | 0.0 σ～0.6 σ   |
| 平年並み   | -0.6 σ～0.0 σ  |
| やや低め   | -0.6 σ～-1.3 σ |
| 低め     | -1.3 σ～-2.0 σ |
| きわめて低め | -2.0 σ～       |

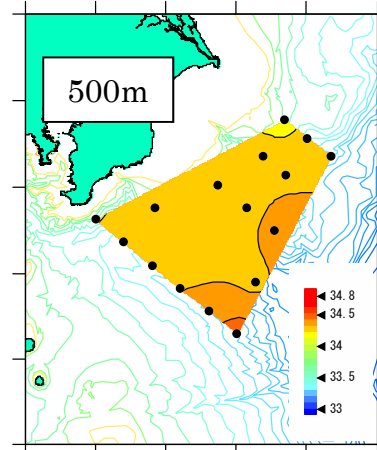
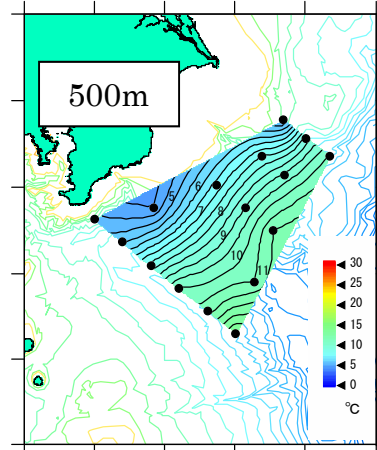
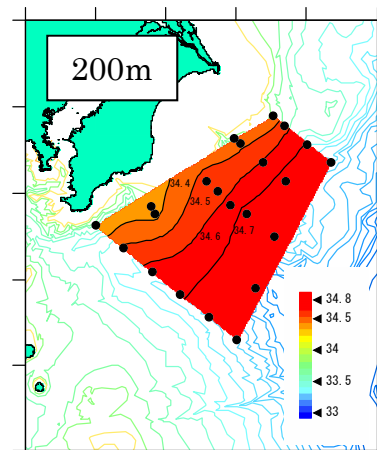
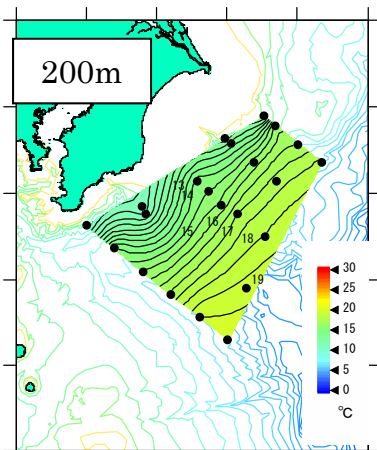
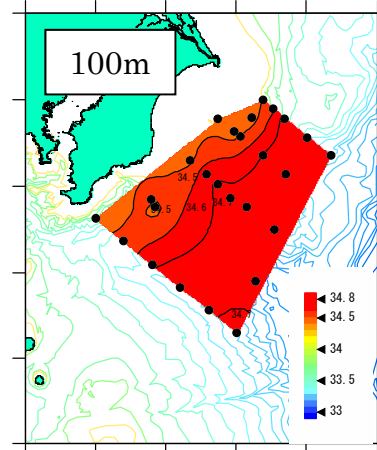
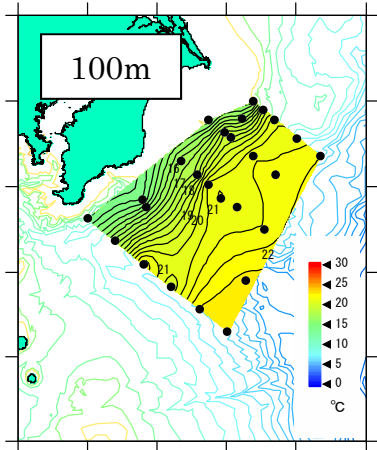
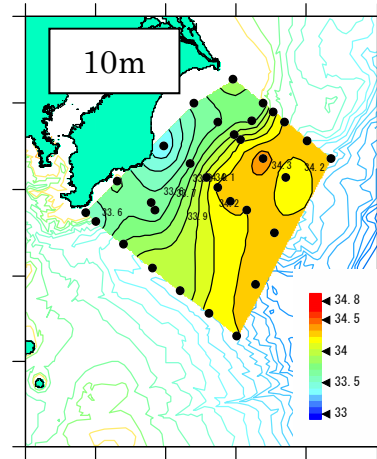
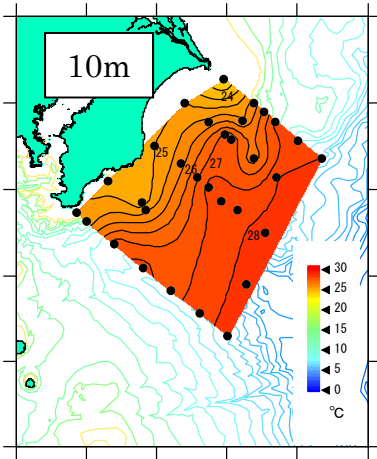


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

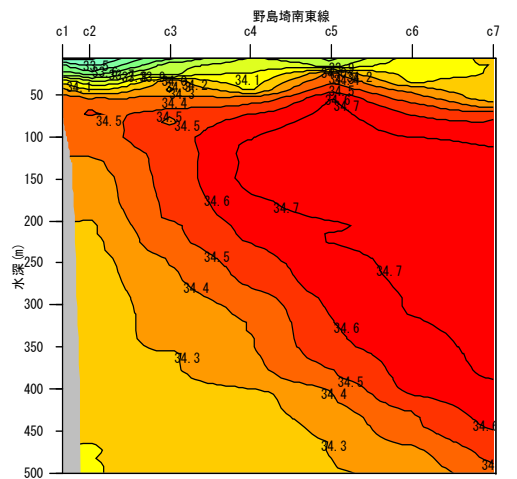
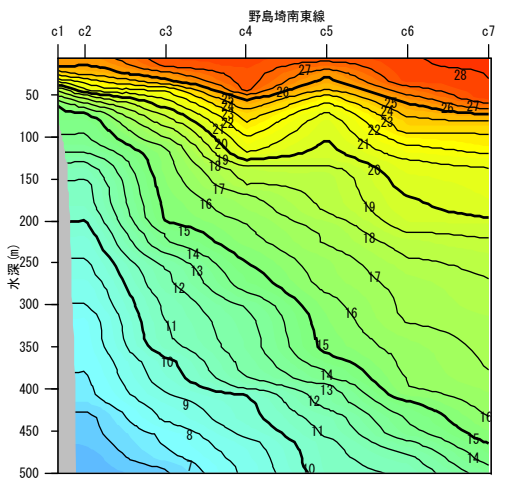
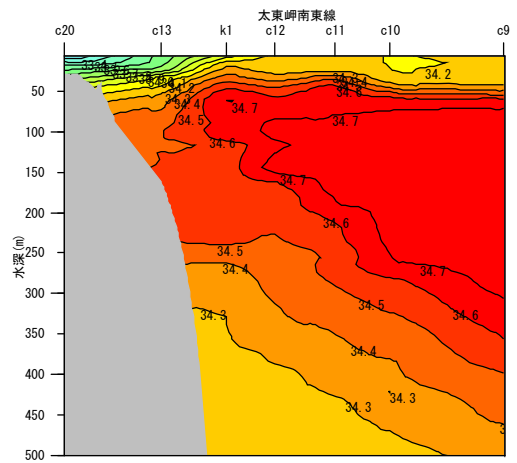
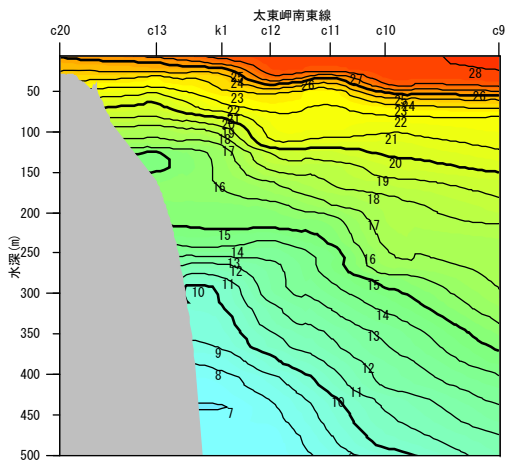
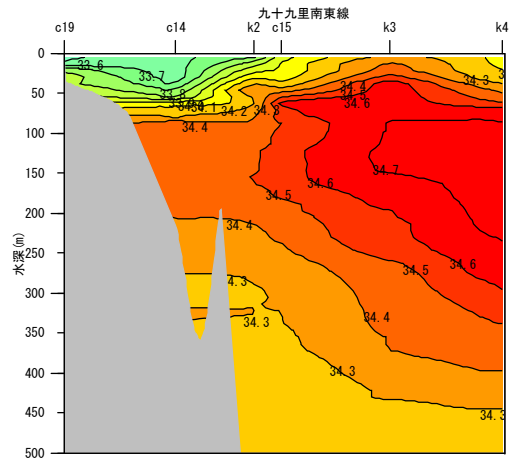
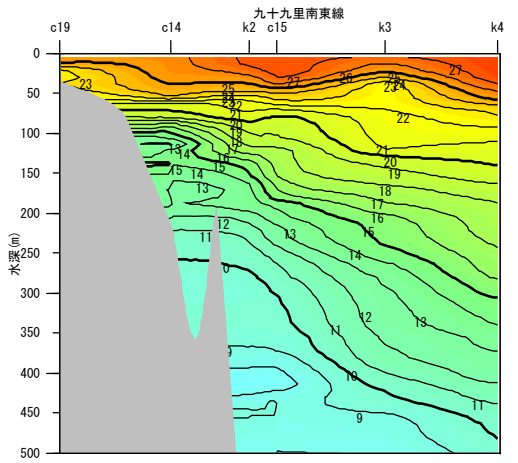
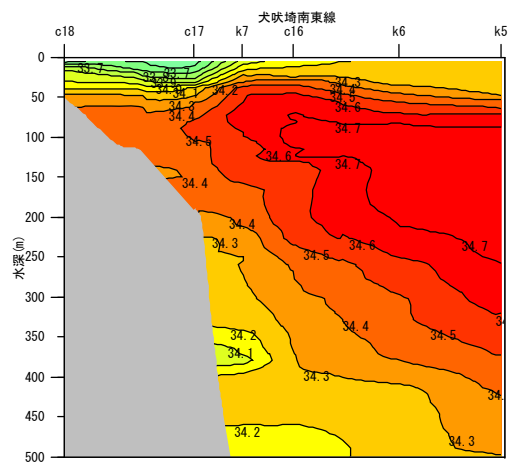
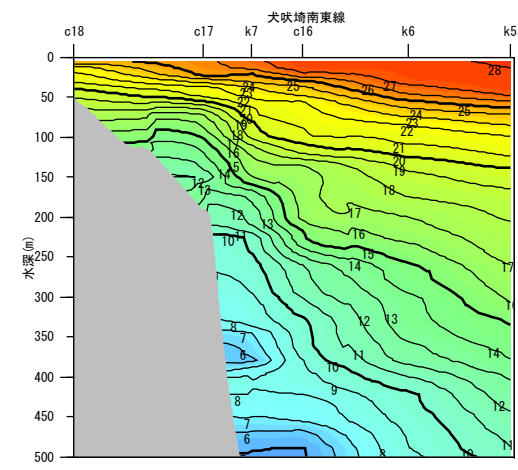


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照）

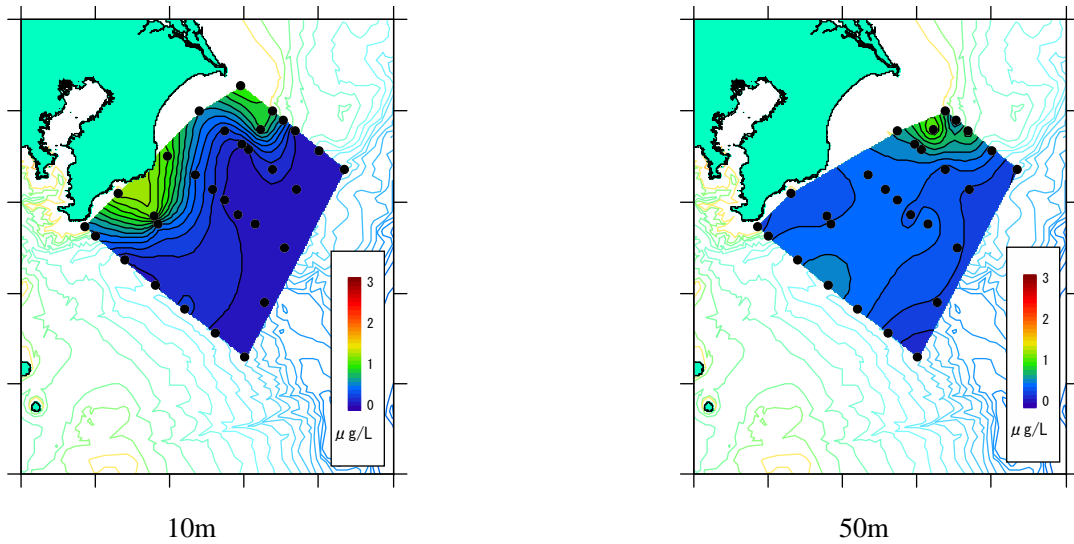
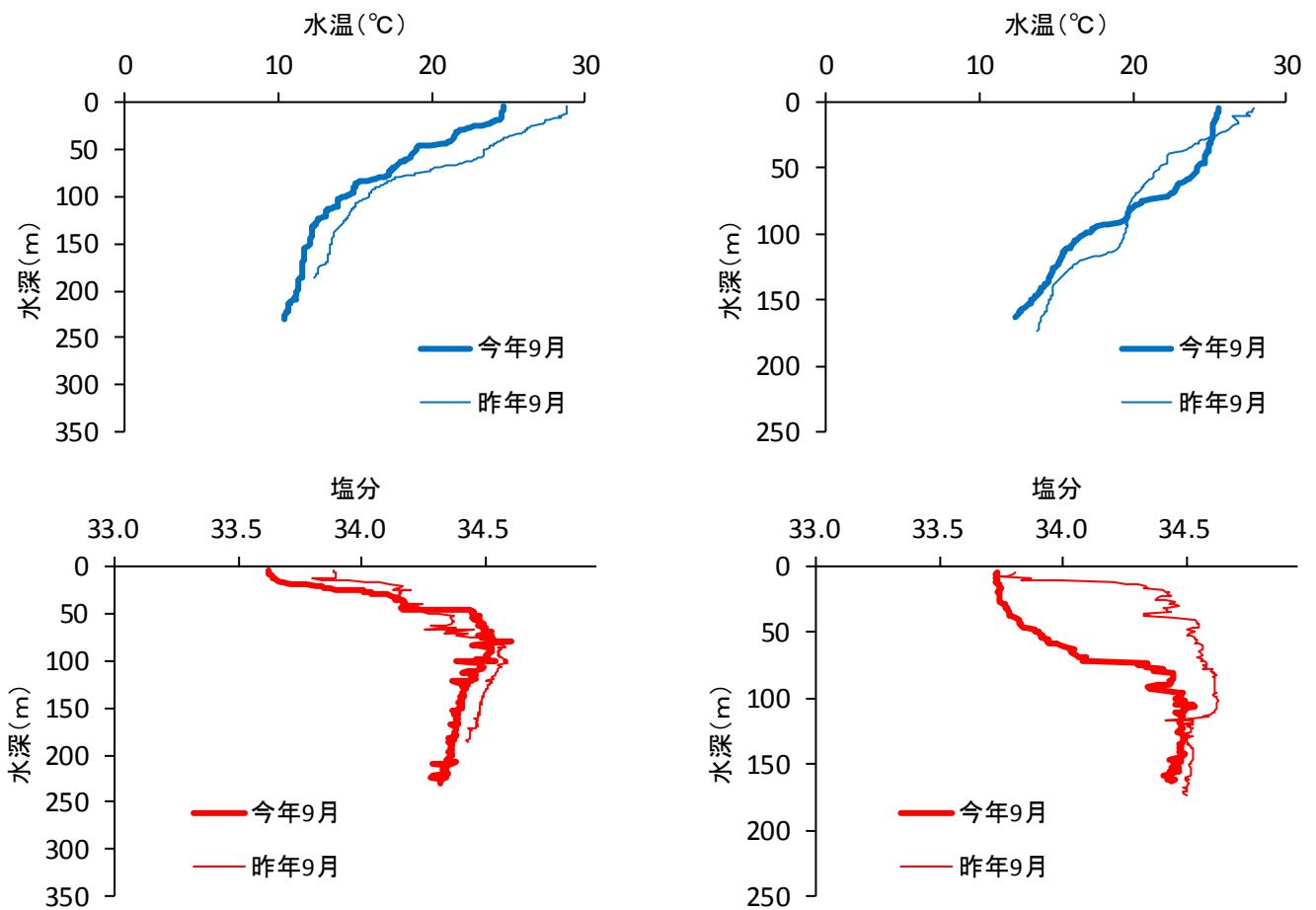


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位:  $\mu\text{g/L}$ )



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)